

令和2年度 茶道部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	大前真由佳	村上由美子	裏千家茶道教授
副顧問	金子栄		
副顧問	渡邊敬彰		
副顧問	佐藤あゆみ		

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	部活動と学業を両立させ、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって、自らの目標を達成すべく日々努力する生徒を育てる。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	校内でお茶席を開き、点前を披露するとともに、東京都高等学校文化連盟に所属しているため、外部で開催される研修会やお茶席に参加する。
(3) 地域貢献等の特色ある目標	観桜茶会等に参加し、上野を観光する外国の方や道行く方々に、茶道体験の実施や点前の披露を行う。

3 指導方針

(1) 技術や技能、体力の向上	裏千家茶道についての知識を深め、技術の向上を目指す指導を行う。外部指導員の裏千家茶道の先生に直接お稽古をしていただくのは月2～3回程度のため、この機会を十分に活かすために、先生がいらっしゃる前に早めに準備を済ませて、お稽古の時間になるべく多く取れるようにする。また、生徒がお稽古に集中して臨み、茶道の知識・技術をより多く習得することで、週2日（火曜・木曜）の自主練習の時に上級生が下級生を指導したり、同級生同士で互いに教え合ったりできるようにする。自主練習用に茶道に関する書籍を揃え、自学自習できる環境も整える。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	ぼろにあ祭での茶道点前の発表、入学式での茶席点前の発表といった毎年恒例の発表活動に加えて、東京都高等学校文化連盟茶道部門主催のお茶会や研修会に参加する。このことによって、茶道をはじめとする日本文化への理解を促す。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	高文連主催の「東京大茶会」など外部のお茶席への参加も積極的に促すとともに、他校の茶道部との交流お茶会を企画し、流派をこえた交流を行っていくことで、茶道文化の広がり理解させる。
(4) 部加入率の維持、増加	新入生へのPR活動を通して積極的に部員勧誘に努める。また、茶道部は運動部との兼部も可能であるので、2年生からの入部希望者についても柔軟に対応し、部加入率の増加を図る。

4 指導内容・方法

(1)体罰・暴言等のない指導	常に丁寧な言葉遣いを心がけ、生徒に「言葉の暴力（暴言）」と受け取られることのないようにする。茶道の特性上、生徒に長時間の正座を強いる場合もあるが、個々の生徒の体調等に応じて柔軟に対応し、「体罰」と受け取られないようにする。
(2)生徒間の暴力禁止	お稽古の時には、「ことば」（裏千家の茶道の心得を述べたもの）、「利休百首」等を唱和することで茶道の精神を学び、相手を敬い、大切にすることを育て、生徒間の暴力がないように指導する。
(3)外部指導員の活用	外部指導員の裏千家茶道の先生との連絡を密にして、部活動が計画的、効率的に行えるようにする。
(4)事故防止・安全配慮	風炉、炉用の釜には熱湯を用いるため、釜を移動させる時には必ず複数で行うなど、火傷などの怪我がないように注意を徹底する。また、炉は高熱になり、出火の危険もあるため、活動の終わりには必ず電気を切ったことを確認し、火事が起こらないように注意する。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	仮入部 活動開始 新入生割稽古、盆略点前 練習 1年 立礼薄茶点前 2・3年 風炉薄茶点前（更好棚） 浴衣着付け
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
2 学 期	10	東京大茶会への参加予定 中央大会研修会への参加予定 高等学校文化連盟主催中央大会「冬のお茶会」への参加予定
	11	
	12	
	1	
3 学 期	2	初釜 薄茶点前・濃茶点前 入学式のお茶会に向けての練習 立礼薄茶点前 東京都高等学校文化連盟事業「観桜茶会」への参加予定
	3	
	4	

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所		和室		和室			

7 公式戦・大会等の実績（令和元年度）

高等学校文化連盟茶道部門中央大会「冬のお茶会」参加
